

令和6年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【3年生 社会科】

観点： ①【知識・技能】 ②【思考・判断・表現】 ③【主体的に学習に取り組む態度】

歴史的分野

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
共通事項	③	・授業に積極的に参加し、学ぼうとする意欲が旺盛である。 ・自己課題を解決するために、継続した復習とともに、教科書や資料集、ネット等を活用して、意欲的に調べている。 ・授業ノートやプリントを仕上げ提出できる。	・授業で、質問や発言ができる。ペアワークで自分の考えを表現できる。 ・授業から重要語句を読み取り、調べ学習も行い、ノートのメモや復習ページでまとめる。 ・授業ノートやプリントを仕上げて提出する。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント	・授業内での情報共有、声かけ ・未提出連絡 ・説明文の書き方指導
日清・日露戦争と近代産業 (4月)	②	・条約を改正し、欧米諸国と対等の外交関係を樹立しようとした人々の努力に気づくことができる。	・条約の改正で大きな役割を果たしたと考えられる人物について自ら進んで調べ、発表している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・授業内での情報共有、声かけ ・未提出連絡 ・説明文の書き方指導 ・テスト直し
	②	・日清・日露戦争の勝利を世界はどのように評価したのか、またその後、朝鮮・中国ではどのようなことが起こったのか、資料などから読み取る。	・日露戦争後の朝鮮と中国の動きを理解し、「韓国併合」「辛亥革命」というできごとを中心に表現することができる。		
	①	・大陸との関係に着目させ、日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを扱い、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	・帝国主義とはどのような動きかを理解し、その知識を身につけている。		

二度の世界大戦と日本 (4～9月)	2	・富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革を取り上げ、近世から近代への転換のようすを、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できる。	・近世から近代へと移り変わる社会のようすに関心を高め、近世と近代の違いやそれぞれの時代の特色を考え、自分の言葉で表現しようとしている。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・授業内での情報共有、声かけ ・未提出連絡 ・説明文の書き方指導 ・テスト直し
	2	・新政府はどのような国家をめざしたのか、またそれに対して、人々はどのような思いをもっていたのか、資料などから読み取ることができる。	・『廃藩置県』の資料を参考にして、自分の住んでいる都道府県が現在の形になるまでどのような変化があったかを読み取ることができる。		
	1	・欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことを理解できる。	・国際的な視野を含む幅広い角度から我が国の歴史の大きな流れを考え、理解している。		
現代の日本と私たち (10月～2月)	2	・条約を改正し、欧米諸国と対等の外交関係を樹立しようとした人々の努力に気づくことができる。	・条約の改正で大きな役割を果たしたと考えられる人物について自ら進んで調べ、発表している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・授業内での情報共有、声かけ ・未提出連絡 ・説明文の書き方指導 ・テスト直し
	2	・日清・日露戦争の勝利を世界はどのように評価したのか、またその後、朝鮮・中国ではどのようなことが起こったのか、資料などから読み取る。	・日露戦争後の朝鮮と中国の動きを理解し、「韓国併合」「辛亥革命」というできごとを中心に表現することができる。		
	1	・大陸との関係に着目させ、日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを扱い、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	・帝国主義とはどのような動きかを理解し、その知識を身につけている。		

【公民的分野】

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
共通事項	①	・授業に積極的に参加し、学ぼうとする意欲が旺盛である。 ・教科書や資料集、新聞・テレビ等を活用して、意欲的に調べようとする。 ・授業プリントや課題を仕上げ、提出できる。	・授業で、質問や発言ができる。 ・プリントや課題などをまとめ、提出できる。 ・教科書から重要語句を読み取り、プリントにまとめ提出できる。	・授業観察 ・プリント ・課題	・未提出連絡 ・プリントの整理 ・小テスト
第1章 現代社会と私たち (4～6月)	②	・位置や空間的な広がり、推移や変化に着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し表現できる。	・持続可能な社会の実現に向けて必要な態度とはどのようなものか、社会参画と関連付けて考察し、表現している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・未提出連絡 ・プリントの整理 ・質問教室 ・小テスト ・授業内での情報共有、声かけ
	③	・文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら学習に対し粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	・科学、宗教、芸術の分野を例に文化の特色について現代社会に見られる課題の解決に向けて粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。		
	②	・対立と合意、効率と公正などに着目し、社会生活における物事の決定の仕方、個人と社会の関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し表現する。	・みんなが納得できる解決策の在り方について、対立と合意、効率と公正に着目して考察し、自分の考えを表現している。		
第2章 個人の尊重と日本国憲法 (4～5月)	①	・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることを理解する。	・日本国憲法の三つの基本原理について、本文の読み取りを通して理解している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・未提出連絡 ・プリントの整理 ・質問教室 ・小テスト ・授業内での情報共有、声かけ
	②	・平和主義を掲げる国としての役割をどのように果たしていくのか、資料に提示された具体的な事例を挙げながら、適切に表現する。	・国際平和のために日本が果たす役割について、自衛隊の活動や被爆国としての日本の立場を踏まえて適切に表現している。		
	①	・日本国憲法において基本的人権の尊重が基本原則になっていること、日本国及び日本国民統合の象徴として天皇の地位と天皇の国事行為について理解する。	・個人の尊重、法の下での平等などがどのようなことを意味しているのか理解している。		

第3章 現代の民主政治と社会 (6～7月)	1	・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや政党の果たす役割について理解する。	・民主政治における物事の決定の仕組みについて理解している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・未提出連絡 ・プリントの整理 ・質問教室 ・小テスト ・授業内での情報共有、声かけ
	2	・選挙の投票率を上げるためにはどのようなことが考えられるか、政治参加に着目して考察し、表現する。	・民主政治と政治参加について、選挙の在り方を通して考察し、投票率向上に向けた取り組みについて考察し、自分の考えを表現している。		
	1	・裁判がより身近で公正なものにするためにどのような仕組み、取り組みが行われているのか理解する。	・裁判所の種類、裁判に出席する人々のそれぞれの役割を理解し、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解している。		
	3	・民主主義と政治参加について地方自治の仕組みを知り、課題の解決に向けて粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	・地域の課題の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、地域の担い手として主体的に社会に関わろうとしている。		
第4章 私たちの暮らしと経済 (8～1月)	1	・消費生活と経済との関りについて理解し、消費者にとっての契約と保障されている権利や果たすべき責任について理解する。	・消費活動について理解し、消費者主権と消費者の権利を守るための制度や法律について本文の読み取りを通して理解している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・未提出連絡 ・プリントの整理 ・質問教室 ・小テスト ・授業内での情報共有、声かけ
	2	・株式会社の仕組みについて理解し、自分が起業するならどのような企業を創るのか、企業の社会的責任に着目して、具体的な事例を基に考察し、表現する。	・株主の権利や責任について理解し、起業するならどのような企業を創るのが良いか、企業の社会的責任に着目しながら考察し、表現している。		
	1	・市場経済における価格の決定について需要量と供給量と関連付けながら価格の果たしている役割を理解する。	・市場経済における価格の決定と役割について需要量と供給量との関りから理解している。		
	1	・税金の種類や仕組みについて理解し、社会保障との関りと結びつけながらこれからの社会保障制度について持続可能性の観点から考察し表現する。	・税金の役割について理解し、これからの日本に必要な社会保障制度について持続可能性の観点から考察し表現している。		

第5章 地球社会と私たち (2～3月)	1	・日本の領土をめぐる問題の現状と竹島、北方領土、尖閣諸島の問題から解決に向けた取り組みについて理解する。	・竹島、北方領土、尖閣諸島の問題の起こった経緯や現状を本文や資料の読み取りを通して理解している。	・授業観察 ・授業ノート ・振り返りまとめプリント ・ペア(グループ)ワーク ・定期考査 ・小テスト	・未提出連絡 ・プリントの整理 ・質問教室 ・小テスト ・授業内での情報共有、声かけ
	2	・新興国の台頭や地域主義の動きについて理解し、世界の国々の間に経済格差が生まれる理由について考察する。	・南北問題や南南問題について理解し、発展途上国に求められる援助について持続可能性の観点から考察している。		
	1	・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力が大切であることを理解する。	・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの問題の現状と課題解決に向けた取り組みの内容について理解している。		
	2	・日本の国際貢献について理解し、これからの国際社会において果たすべき役割について考察する。	・持続可能性の観点に着目し、日本国憲法の平和主義を基に国際社会において果たすべき役割について考察する。		
終章 よりよい社会を目指して (2～3月)	3	・より良い社会を築いていくために解決すべき課題について自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	・持続可能な社会の形成者として解決すべき課題の解決に向けて自分にできることを考え、社会に参画しようとしている。	・授業プリント ・ペア(グループ)ワーク ・レポート	・授業内での情報共有、声かけ